



第103号 2024年 8月 1日

発行所/神山復生病院 〒412-0033御殿場市神山109 (Tel)0550-87-0004 (Fax)0550-87-5360  
(E-mail)info@fukusei.jp (ホームページ) https://www.fukusei.jp/



### 《 理 念 》

神山復生病院は キリストの愛に基づいて 病める人も健やかな人も 神によって創られた人間として  
喜びも苦しみも共にしながら 一人ひとりの命を大切にし 希望をもって医療と福祉に献身します

## 新型コロナウイルス感染症には悩まされます・・・

看護部長 杉山美貴子

先日静岡市の気温が40℃を超え、日本で一番暑かった場所としてニュースになりました。その日たまたま静岡市にいた私は、実家の縁台が熱すぎて素足で歩けない状況を体験しました。少し動くだけで汗びっしょりとなり、異常な暑さは本当に体力を消耗すると実感しました。そのような時に、神山復生病院介護医療院では新型コロナウイルス感染症が発生し、7名程度の患者さんを隔離しケアにあたる状況となりました。

患者さんのケアに入るときには、手袋、マスク、フェイスシールド、キャップ、そしてガウンとフル装備で対応します。お部屋にはもちろんエアコンは設置されていますが、このフル装備でケアにあたっていると全身から汗が噴き出し、流れ落ちた汗が目に入ってしまう、目を開けていることも儘なりません。「とにかく暑い」と表現するだけでは、その状況を伝えきれないほどの大変さです。また、何度も部屋の出入りをしないよう、一度入室するとケアをまとめて行うようにしますので、1時間以上は入りっぱなしとなります。

皆様この状況を想像してみてください。本当に大変です。でも、職員さんは誰も不平不満を口にしません。人手が足りない時間帯には、みんな主体的に残務や早出を申し出てくれて、患者さんと病棟を守ってくれました。隔離が解除されるまで3週間ほどかかりました。ご家族にもご協力をお願いし、この間だけは面会を中止させて頂きました。ご心配をおかけし申し訳なかったです。でも、ご家族からは「頑張ってくださいね。応援してますからね。」とあたたかい言葉をかけて頂きました。とてもありがたく、元気を頂戴しました。

新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、マスクの着用は個人の判断に任せられるようになりました。街ゆく人々はこの暑さもあり、マスクをしていない方がほとんどです。でも、医療の現場ではまだまだ油断できない状況が続いています。やっと日常を取り戻した介護医療院は、患者さんやご家族の笑顔とともに、職員のホッとした笑顔も見えるようになりました。夏休みに入りご面会の方も多くなりますが、どうぞマスクの着用と手指のアルコール消毒に、ご協力をお願い致します。



## 看護学生さんが実習に来られました

看護部長 杉山美貴子

6月に御殿場看護学校の1年生4名、7月には駒沢女子大学看護学部看護学科の4年生8名の生徒さんが、介護医療院とホスピスに実習に来られました。御殿場看護学校の1年生の方は、「基礎看護実習Ⅰ-①」という、看護学生として本当に初めての実習です。4名の生徒さんが緊張した面持ちであいさつする姿を、職員は優しい表情で見守ってくれています。たった1日の実習ですが、病院という場所はどんな環境なのか、また患者さんがどんな環境で過ごされているのか、ほんの少しだけ理解できたようでした。また、駒沢女子大の方は、最後の実習としてホスピスを知るために来られました。ホスピスという場所を見学できる機会は少ないようです。そのため事前学習もしっかり取り組まれて、さすが4年生と思える質問もたくさん出てきました。看護学生1年生と4年生、どちらの学生さんも自分がどんな看護師になりたいのか、その思いはきちんと持って実習に来られます。そんな思いがこれから先実現できるよう、たった1日の実習ではありますが、指導者は愛をもって指導に取り組んでくれました。看護師になってから、「復生病院で実習したことが自分の看護観に影響した」と思っていただけの実習を、今後も提供していきたいと思います。

## 日本カトリック神学院 神学生の訪問



事務局長 シスター徳永美智子



毎年、6月になると、東京にある日本カトリック神学院から神学生たちが復生病院を訪れて、入院者の皆さんとの交流をされます。この訪問は、第6代目院長であった岩下壮一神父が1930年院長に就任し、翌1931年に病院野球チームをつくり、東京カトリック神学院との対抗野球試合から始まりました。現在も年一回の訪問交流が続いています。一泊の日程だった時は、神学生の劇や合唱。入院者の歌等で楽しい交流会を開いた時代がありました。



今回、6月6日に20名の神学生と3名の司祭によるミサ聖祭から始まり、ミサ後交流会、その後記念館見学、墓参をされて帰京されました。ハンセン病回復者は現在2名おられますが、復生病院と神学生の交流はこれからも末永く続くことを願っています。

※ 神学院は、カトリック信徒の男子が将来司祭になるために哲学・神学を学ぶところです。

## 不二聖心女学院の奉仕の日

事務局長 シスター徳永美智子

6月28日に裾野にある不二聖心女学院から高校生15名が奉仕のために病院を訪問されました。コロナ禍のために約3年間の奉仕活動がなかったのですが、今年からその活動が再開されました。高校1年生5名、2年生5名、3年生5名と先生の16名が記念館と別館の清掃を、その後復生病院の歴史を知るためにDVDを鑑賞して帰路につかれました。

尚、不二聖心女学院の土地は、岩下壮一神父の父、岩下清周が寄贈した土地であり、いまま岩下家の墓地が学院の一角にあります。広大な土地の中で学院の発展を見守っておられることでしょうか。復生病院と岩下家のつながりはここにも見られます。



記念館屋根裏の掃除もしていただきました



## ボランティア活動再開について

事務部 後藤 和也

神山復生病院では、これまで数多くのボランティアの皆様にお力添えをいただいております。しかしながら、2020年のコロナ禍以降は中止を余儀なくされました。

昨年5月の新型コロナウイルスの5類感染症移行から、感染状況等、様子を見ておりましたが、今年7月初旬にボランティア活動の再開に伴う説明会を実施いたしました。

再開は8月からとなり、しばらくの間は毎週水曜日に限定しながらの活動となります。定期演奏やフラダンス、読み聞かせ等、患者様だけでなく職員も楽しみにしております。

当院のボランティアについて興味をお持ちの方やお問い合わせは、病院へお電話、又は受付窓口へお声がけ下さい。

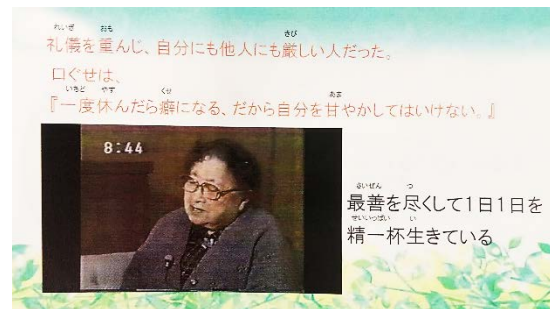
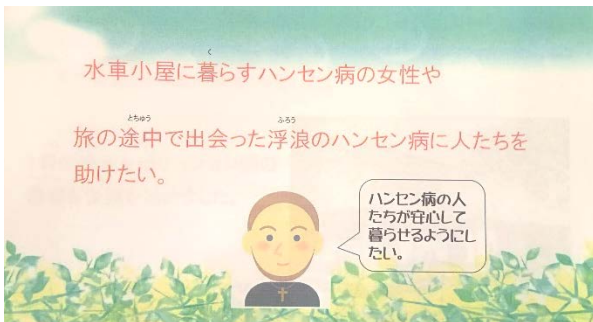


## 神山小学校4年生 歴史講話

記念館 森下裕子

6月26日に神山小学校の4年生に、「神山復生病院と井深八重さん」の歴史講話を行いました。今年も神山小にお邪魔しての形になりました。ハンセン病はどんな病気か、ハンセン病になったことで差別を受けたこと、そして多くの困難を乗り越えフランス人宣教師がハンセン病の方々を保護する施設をつくりあげ、シスター方に引き継がれ、現在は地域に根ざした病院になっていること。そして御殿場市の小学校の道徳の副読本の中にも取り上げられている井深八重さんについてお話させていただきました。

皆さんの真剣なまなざしに感心しました。今回のお話が、この課題の導入部とのことでしたので、自分で調べたりして復生病院やハンセン病のことについてさらに理解が深まってくると良いと思います。



使用した資料から

## 今回のおすすめ

### 『虫除けのトンボ「オニヤンマくん」と「アカネちゃん」』



最近ホームセンターやドラッグストアでよく見かける、虫除けのトンボ「オニヤンマくん」と「アカネちゃん」。リアルなオニヤンマとアカネの姿に、虫嫌いの人は手が出ないかもしれませんが、服に付けたり、窓にぶら下げたりと色々な使い方ができ、さらに薬剤を使わないので安心して使えます。いざとなれば殺虫剤の登場ですが、遊び心のある虫除けもぜひ試してみてください。ちなみに私は犬のお散歩バッグに付けています。

紹介者 (外来) 木村眞由美



## 外来担当表

緩和ケア外来は予約制

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前	内科(中原)	内科(北村) 皮膚科(宗田)	休診	内科(江藤)	内科(若杉)	内科(第1.3.4中尾) (第2.5岡部) 皮膚科	休診
午後	休診	休診	休診	休診	休診	休診	

特定検診・带状疱疹ワクチンの接種の予約を承っております。

## 皮膚科外来予定表

9月以降の診察はHPにてお知らせいたします。  
もしくは、お電話にてお問い合わせ下さい。



宗田昂己 医師	8月 6日(火)・13日(火)・20日(火)・27日(火)
太田有史 医師	8月 3日(土)
加藤美未 医師	8月10日(土)
太田真由美医師	8月17日(土)
福地 修 医師	8月24日(土)
生玉梨紗 医師	8月31日(土)

皮膚科外来は、毎週火曜日と土曜日の午前に行っています。

## 復生病院の七夕飾り



訪看マリア

今年も七夕の飾りつけがされました。手作りの飾りと願いが書かれた短冊は各部署の個性が出ていました。皆さんの願いがどうぞ叶いますように。



外来

ホスピス病棟



マリアの家

## 編集後記

今年は夏に備えて日傘、クールネックリング、冷えるタオルなどの暑さ対策グッズを購入しました。御殿場は夏は涼しいと言われていましたが、最近では30度を超える日もしばしば。まだまだ暑い日が続きます。熱中症に気をつけてこの夏を乗り越えましょう。

次回号もお楽しみに。

ま

